

## 第4回 IGM

日時：2024年3月29日 18時30分～20時30分

場所：岐阜都ホテル 中華料理四川

出席者：世話人松野・リーダー井戸・岡田・川崎・永瀬・前田（敬称略）

議事内容：【国際奉仕・インターアクト・青少年奉仕】

【会報と広報PR】

会長経験者5人が、素人会員の井戸に教示するような形態で議事進行

IGMとは、「ファイヤーサイド・ミーティング」が正式名称

「ファイヤーサイド・ミーティング」とは、海外のビジネスコミュニティではよく行われている形式のトークイベント。直訳すると「暖炉脇の会話」となるこのスタイルは、ラフな会話を覗き見するようにカジュアルに参加できることが特徴。

Informal (Discussion) Meeting という表現もされていた。現在、言葉そのものは「手続要覧」にみられないが、実態として、クラブによって様々な名前でも集会が行われている。ファイヤーミーティングと呼んでいるクラブもあるそう。

調べきれず。

昔は各家庭を回って行っていたが、奥さん等の負担が大変だったため家庭でのミーティングは中止になった

岐阜北RCでも以前は、職場を回ってやっていた。

会員の職場見学の意味も含めて、会員の職場での開催も面白いのでは。

### 【国際奉仕・インターアクト・青少年奉仕】について

#### ・国際奉仕について

国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

岐阜北ロータリークラブでは、過去に「留学生の受入れ」や「蚊帳を送る」「国際ロータリー基金を設立」したりしてきた。

現在会員の中に子女を留学させたいと希望する方がいるので、予算を組んで留学生の受け入れ先を決めるなどしてあげる必要があるのでは。

#### ・青少年奉仕

青少年奉仕とは、インターアクトやロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

岐阜北ロータリークラブでは、バレーボール大会を支援している

ロータリー杯は、岐阜北RCの5周年記念行事として始まり早や30年余り経つ。通年行事としては如何なものかとの意見もあるが、評判が良いので継続すべきではないか。

## ・インターアクトについて

岐阜北ロータリークラブでは、岐阜城北クラブの「インターアクト部」を支援している  
「インターアクト部」とは、ロータリークラブにより提唱された12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブです。ロータリークラブは世界中にありますから、各国で同様の活動を行います。

岐阜北ロータリークラブでは、「キャップ集め」「リボン活動」「交換留学活動」「模擬面接」「職業説明の出前講師活動」をやってきた

「模擬面接」「職業説明の出前講師活動」は、評判が良いので継続すべきではないか

## 【会報と広報PR】について

昔はテープ起こしをしていて大変だった

今は、会長挨拶の原稿を頂くようになったので楽になった。卓話で原稿が貰えない場合があるので原稿を渡すのを徹底してあげるべきでは。

今現在委員が4名しかいない。負担になっているのではないか？心配する声があった。文字起こしの機械を導入してあげるのも方法かも

岐阜北RCは、HPをオープンにしている。慶祝情報などがみれてしまうので、一部クローズにすべきではないか。との意見があった。地区では対外用HPと会員用HPを分けて作っているのでは、当会もそうするのも方法。

少なくとも原稿をそのまま載せるのではなく個人情報等が載っていないかくらいはチェックすべき

会報広報委員をやると岐阜北ロータリークラブの全体像が分かる

会計をやると資金面での状況がわかる

各委員会の引継ぎをしっかりとやるべき